

| NFAアクションプラン2022→2026 | 全体 頁中の 頁 |
|--|----------------------|
| 1. 現状の概要と今後の方向性 | 地区協会 第2種委員会 連盟 |
| <p>・第2種登録チーム数は少しずつ減少し、登録選手数も数年間2,900人台を維持していたが、2022年度は2,700人台という状況である。今後高校の登録チーム数が更に減少することが予想され、今後の部活動の地域移行の状況を踏まえ、高校の合同チームの活動確保によるチーム数・登録選手数の維持を目指していくことが重要となる。</p> <p>・現在のところ第2種年代の日本代表に選出される選手は多くはないが、拮抗したリーグ戦の質を上げていくことが今後必要である。</p> <p>・プリンスリーグ北信越には2022年度は新潟県から4チームが参加し、上位2チームが新潟県であった。例年プリンスリーグ北信越では新潟県のチームが上位に入り、プレミアリーグへの昇格を果たせる状況に近づいてきている。</p> <p>・全国高校サッカー選手権大会では、帝京長岡高校が2019・2020年度に2年連続ベスト4に進出した。</p> <p>・高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ新潟県では、2022年度現在4部制で延べ85チームが参加し、拮抗したゲーム環境を目指し、チーム強化・選手育成、ユース審判員の育成という点で成果を上げているが、参加チーム数は減少傾向になっている。</p> <p>これまでの中期目標であった2022年目標の対しての達成度や現状、今後の長中期目標に対しての現状の概要、今後の大まかな方向性などについて書いて下さい</p> | |

| NFAアクションプラン2022→2026 | 全体 頁中の 頁 |
|--|----------------------|
| 2. 中期目標(2030年) | 地区協会 第2種委員会 連盟 |
| <p>・公立高校の部員数減少に伴う登録チームの減少はやむを得ないが、合同チームでの活動を全体として支援し、登録選手数の減少を食い止め、2,700人以上の登録数を維持することを目標とする。</p> <p>・年代別代表に常に3人以上選出される。</p> <p>・第2種年代の全国大会において、優勝するチームが出る。</p> <p>・プレミアリーグに新潟県から3チームが常に参加している。</p> <p>・プリンスリーグ北信越に新潟県から常に6チーム以上参加している。</p> <p>・高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ新潟県(Nリーグ)が、現在の4部制を維持し、レベルの拮抗した試合を維持する。</p> | |

| NFAアクションプラン2022→2026 | 全体 頁中の 頁 |
|--|----------------------|
| 3. 長期目標(2050年) | 地区協会 第2種委員会 連盟 |
| <p>・登録選手数2,700人を維持する。</p> <p>・年代別代表に常に5人以上選出される。</p> <p>・第2種年代の全国大会において、数年に1回、新潟県のチームが優勝する。</p> <p>・プレミアリーグに新潟県から4チームが常に参加している。</p> <p>・プリンスリーグ北信越に新潟県から常に6チーム以上参加している。</p> <p>・高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ新潟県(Nリーグ)が、現在の4部制を維持し、レベルの拮抗した試合を維持する。</p> | |

| NFAアクションプラン2022→2026 | | | | 全体 頁中の 頁 | |
|----------------------|---|--|------|-------------------------------------|--------------------------|
| 4. 現状分析 | | | | 地区協会 第2種委員会 連盟 | |
| No. と 事項 | 2026年具体的目標 | 2022年における現状 | 達成度 | 目標達成へ向けての課題 | 改善の方策 |
| 1 普及 | 登録チーム数 75チーム(維持) | 登録チーム数 75チーム (2022年度) | 100% | 高校の統廃合に伴う高校数減 | ・合同チームの活動支援 |
| 2 普及 | 登録選手数 2,700人(維持) | 登録選手数 2,757人 (2022年度) | 100% | <Nリーグの充実> ・部員が減少する地域における 選手確保 | ・減少する地域における第3種 年代との連携 |
| 3 育成 | 年代別代表に3名以上 | 年代別代表に1名選出 | 20% | <プレミア、プリンスリーグ 参加チームの強化> | |
| 4 強化 | 全国優勝のチームが出る | 第2種年代チームの全国 ベスト4以上(2019年・2020年) | 50% | <プリンスリーグやNリーグ における拮抗したゲームの増加> | |
| 5 強化 | プリンスリーグ北信越に 6チーム参加する プレミアリーグに3チーム 参加する | 2022年度はプリンスリーグ 北信越に4チーム参加 2022年度はプレミアリーグ に参加するチーム無し | 65% | <プリンスリーグやNリーグ における拮抗したゲームの増加> | |
| 6 普及 及び強化 | Nリーグ4部制を維持する。 Nリーグ参加が85チームを維持 する。 | 高田宮杯 JFA U-18サッカー リーグ新潟県(Nリーグ) 参加延べ85チーム | 100% | <リーグの充実と昇降格の 活性化> | |
| 事項番号と見出し | 事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で | 2026年目標に向けての2022年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→ | %表記 | 目標達成のために解決すべき課題 | 課題を解決、改善のための方策の概要 |

5. 具体的アクション

第2種委員会
連盟
地区協会

| No. | 誰が | いつ・いつまでに | どこで | 何を | どのように |
|--------------|---------|------------|----------|-------------------|---------------|
| 1 普及 | 第2種委員会が | 機会を見て | 各地区で | 存続について | サポートする。 |
| 2 普及 | 第2種委員会が | 機会を見て | 各チームに対して | 部員数を増やす | 働きかけをする。 |
| 3 育成 | 各チームが | 日頃から | 各チームで | 選手の将来性を見て | トレーニング環境を整える。 |
| 4 強化 | 各チームが | 年間を通して | 各チームで | チーム強化の方策を | 検討する。 |
| 5 強化 | 各チームが | 年間を通して | 各チームで | チーム強化の方策を | 検討する。 |
| 6 普及 及び強化 | 第2種委員会が | Nリーグ実施計画時に | | リーグレベルの向上 の方策を | 検討する。 |

↑現状分析での事項No. に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です